

3月8日

子どもたちのために シラリカチセライブ開催

映画「シサム」でアキノ役を務めた俳優の平野貴大さんとシンガー・ソングライター河口恭吾さんによるライブがウレシパチセで開かれ、約80人が会場を訪れました。

ウレシパチセでライブが開かれるのは6年ぶり。ライブは、CMのナレーションなども務めている平野さんによる「フンベ伝説」の朗読でスタート。感情のこもった朗読に来場者は引き込まれていました。

続いて河口恭吾さんのライブが行われ、名曲「桜」や「バラと東京」の他、カバー曲など全8曲を歌い上げ、来場者を魅了しました。最後は平野さんと河口さんによるトークショーが行われ、来場者を楽しませていました。



1



3



2

1. 絵本の映像とともにフンベ伝説を朗読する平野さん。2. 河口さんのライブ。名曲「桜」でスタートしたライブは、終始盛り上がりを見せました。3. 平野さんと河口さんのトークショー。2人が出会った頃の話や、名曲「桜」に関する話などで来場者を楽しませていました。

3月9日

股関節の動きを強化 スポーツ指導者研修会

町内のスポーツ指導者やスポーツ少年団が効果的な機能向上トレーニング法を学ぶ「スポーツ指導者研修会」が総合体育館で開かれ、約60人が参加しました。

講師は「なのはな整骨院」を運営し、柔道整復師として患者の治療にあたっている野村香氏。野村氏は股関節の動きについて「鼠径部が伸びていない人が多いので、ここを伸ばすことが大事」と話していました。



「足を伸ばすことでインナーマッスルも鍛えられる」と野村氏(中央)

3月7日

ハラスメントについて考える 男女平等参画推進フォーラム

男女平等参画推進フォーラムが社会福祉センターで開かれ、女性連絡協議会の会員など約70人が参加しました。同フォーラムは、町女性団体連絡協議会の「女性のつどい」も兼ねて開催されました。

講演では、釧路地方法務局人権擁護課の佐々木克史課長が「それって『セクハラ』・『パワハラ』じゃないの」と題し、ハラスメントについて解説しました。



「名前に“さん”を付けると暴言は出づらい」と佐々木課長

3月3日

掘削技術専門学校 「新エネルギー大賞」受賞

掘削技術専門学校（井上政史校長）が「令和6年度新エネ大賞」の審査委員長特別賞を受賞しました。

同賞は、新エネルギーの導入活動に対して優れた取り組みを行った団体に贈られるもので、同校は地熱事業を支えている点で評価を受けました。

この日は、同校の井上校長と島田邦明理事が役場を訪れ、棚野孝夫町長に受賞を報告しました。



左から島田理事、井上校長、棚野町長

2月28日

道の駅しらぬか恋問 33年の歴史に幕

この日、「道の駅しらぬか恋問」が営業最終日を迎え、33年の歴史に幕を下ろしました。

道の駅しらぬか恋問は、国道38号沿いに1992年にオープンし、たくさんの人に親しまれてきました。

道の駅を運営する白糠町振興公社の山根浩社長は、「コロナ禍でも1日も休まず営業できたのは、社員の頑張りのおかげ」と社員の労をねぎらいました。



閉店の17時30分、降ろされるシャッターを見つめる山根社長(左)

3月3日

釧路白糠工業団地第1工区 津波指定避難場所竣工・避難路開通式

釧路工業団地第1工区の津波指定避難場所竣工・避難路開通式が「釧路避難橋前」で行われ、来賓や関係者など約50人が出席し、完成を喜びました。

同地区には、平時昼間に36企業1,200人以上が就業し、繁忙期には夜間でも1,000人を超える従業員が働いています。

同地区のこれまでの津波指定避難場所は、歩行での避難が困難であることや、車両避難の際は交通渋滞が懸念されていました。

町は課題解決に向け、東部開発株式会社（濱屋宏隆社長）の協力を得て、同社敷地内に津波指定避難場所を指定。合せて避難路と経路中にある二級河川底路川水系古川を横断する人道橋「釧路避難橋前」を整備したほか、避難者用の備蓄資機材も配備しました。

開通式で棚野孝夫町長は「関係者をはじめ、協力いただいた濱屋社長に心から感謝申し上げます。第1工区で働く従業員の命を守るため、企業の避難訓練のサポートや防災に関する啓蒙、啓発など、一層の地域防災力の強化に努めていきたい」とあいさつしました。



1



2

上／釧路避難橋前でテープカット。右は濱屋社長。下／開通式後、整備した避難路を歩いて津波指定避難場所へと向かう出席者